

館山市広報

編集と発行 館山市秘書課 館山市北条1.687番地 電話館山67.68.701番

昭和34年
1月21日
第81号
52
(毎月1回発行)

総人口	62,286人
男	29,755人
女	32,531人
世帯	13,683世帯
出生	68人(男35・女33)
死亡	50人(男24・女26)
結婚	42件
離婚	1件
世帯離婚	9件

市広報は皆さんのもの

毎月全世帯に無料でおくりししている「館山市広報」は、皆さんから親しまれる市政便りとして、いろいろ努力をしておりますが、まだまだ不完全で意に満たないところが多いと思っております。皆さんの本紙に対する、ここが悪いとかがあれがよいとか率直なご意見をお伺いして紙面の刷新を図つていきたいと思っておりますので、皆さんの建設的なご意見をお聞かせ下さい。



昭和34年の新春を寿ぐ

五穀の豊穡、日本経済の不況脱出等、国を挙げての明るい新年を迎えたい。事はないかと思ひます。更に館山市におきまして、市制施行二十周年を迎え、人生の成人式と意義をおなじくする誠におめでたい新年であります。願ひますと、この二十年間の館山市の歩みとい



文化都市建設に 議会機能の総力をあげ

市議会議長 石井 潔

年頭の詩

心豊かに
平和な新年
を皆様と共に
お祝いす
ることを深
くお慶び申
上げます。
私は戦後、本年のよう
に皇太子様のご成婚決定
し上げます。



市誕生20周年迎え 本年を市政躍進の年に

館山市長 田村利男

明けましておめでと
うございます。
昭和三十四年の元旦を迎
えまして、ここに皆様と
ともに新春を寿ぎかつ祝
うことが出来ますことを
心から喜びとするもので
あります。
例年のこととは申しな
がら、新年を迎えるとい

たてまつる皇太子御成婚
の年でもあり、又経済界
においても対外的には漸
く胎動してきた世界景況
の回復と、対内的には国
際収支の好調、金融の緩
慢等により日本経済の安
定成長が強く期待される
誠に意義ある新年であ
ります。
にみちた年なのでありま
す。私は皆様の絶大なる
声援による再選を喜び、
とも、この躍進を期待
される、明るい希望に
ちた新年を迎えましたこ
とを心から感謝すると
もに、館山市の福祉増進
に対して、更に決意を新
し、明るい作らぬよう館山

められて来たのでありま
す。この苦しい経験を打
開するために、鋭意努力
された、市当局と市議会
全員一体となった市財政
再建への誠意が実を結び
遂に黒字財政を確立した
のであります。
このように健全財政の
基礎が出来た今後は、市
民の福利に資すべき施策

りよき刺激をもたらすこ
ろと、さほど遠くないも
のと考えて間違いないと
思ひます。
以上の様に、ようやく
安定の域に達した市政の
今後の方角は市民の富の
増成へ大きく踏み切って行
き、館山市の年間予算も
四億以上を策定し、併せ
て所見の一端を申添え
て挨拶いたします。

うものは実にいばらの道
でありました。
何事も一人前に育成する
には並々ならぬ努力が必
要であります。
私は市議会にあつて十
二年の間市政の各面を見
て参りましたが、過去十
年は常に赤字財政に苦し
まされておりました。この
が大巾に実施されてゆく
ものと信じております。
なかならず当市を中心と
する南房総国定公園の指
定があり、いよいよ観光
地としての施策が次々起
つて来るさざががありあ
りと思ひます。この支
援により大過なく、任期
も余すところ二ヶ月とな

なご館山市におきまし
ては、丁度満二十才を迎
えた若人が、成人の式に
おいてその栄ある前途を
祝福されること、来る
十一月三日をもちまして
館山市誕生二十周年を迎
える実におめでたい希望
つ大であります。

私はこの二十才を迎え
た若人のような情熱と努
力と誠実をもつて、財政
規模の拡大をはかり、国
定公園にともなう観光施
設の完備を計画すると
もに教育、産業、土木等
において勇気と決断をも
つて重点的な施策を推進
し、明るい作らぬよう館山

本年の成人式

該当者九〇九名
一月十五日の成人の日に
行われた、館山市成人式
は北条小講堂に該当者九
〇九名を迎え、田村館山
市長をはじめ、高橋橋本
議員等多数の祝辞を受け
感謝と決意を新たに実社
会の一員として再出発し
ます。

一日から メートル法実施

いよいよ一日から全国一
斉に「メートル法」が実
施されました。
これからの買物や売物は
全部メートルで行われる
ので、早く慣れて自然に
日常生活にもメートルで
話せるようにしましう
な。土地、建物は土地
台帳、家屋台帳が書きか
えらるるので昭和四十一年三
月末まで延期され、木材
畳、建具なども昭和三十
五年十二月末まで、また
統計調査による農家の申
告は三十八年十二月末ま
で実施が延期されてお
ります。

館山(高)船形(小)の 校舎増築工事起工

請負人 館山市那古
一、〇七〇番地
関 万次郎

本年年度国庫補助対象事
業として申請中であつた
船形小学校危険校舎改築
工事及び館山高等学校の
産業教育施設工事は、そ
れぞれ補助額の決定を見
たので左記のとおり起工
し三月中旬竣工すること
となつた。

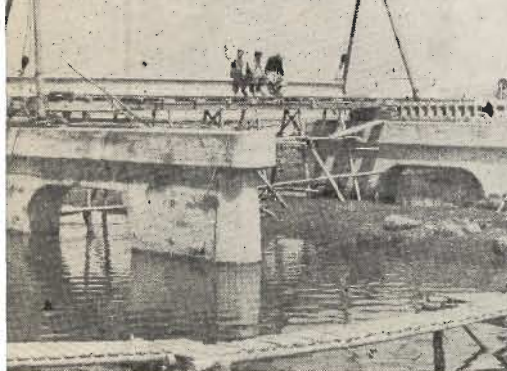
一、船形小学校危険校舎
改築工事
起工 昭和三十三年
十二月七日
建築坪数 六教室 一
六七坪九合
構造 木造アルミ瓦葺
二階建
請負金額 四百五拾五
万円
財源内訳
国庫補助金百拾六万
八千五百円
起債 二百万円
市費 百三拾八万一
千五百円
請負人 館山市船形
一、三三二番地
有限会社高橋工務店
代表者 高橋俊夫
一、館山高等学校産業教
育施設工事
起工 昭和三十三年十
二月二十六日
建築坪数 二教室 四
八坪四合
構造 木造瓦葺平家建
請負金額 百参拾貳万
六千円
財源内訳
国庫補助金 三拾七
万円
市費 (PTAより寄
附) 九拾五万六千円

船舶職員 養成講習会

二月三日から三月九日ま
での三十五日間にわたつ
て、内務省船政部長の養成講
習会が、船形漁業協同組
合会議室で行われます。
この申込は次のようにな
つています。
▽一月二十五日まで県水
産試験場又は市商工水
産課へ、住所、氏名、
生年月日、受験科目を
そえて申込のこと。
なお、講習終了後、国家
試験が次の予定で行われ
ます。
国家試験予定
日時 三月十日
場所 船形漁業協同組
合会議室の予定
試験科目 乙種二等機
関士、丙種機関長、丙
種機関士
その他 受験資格につ
いては、それぞれ試験
科目によつて違います
ので、市商工水産課へ
お問合せ下さい。

昭和33年度上半期

市の財政事情公表



昭和三十三年年度 一般会計予算の状況

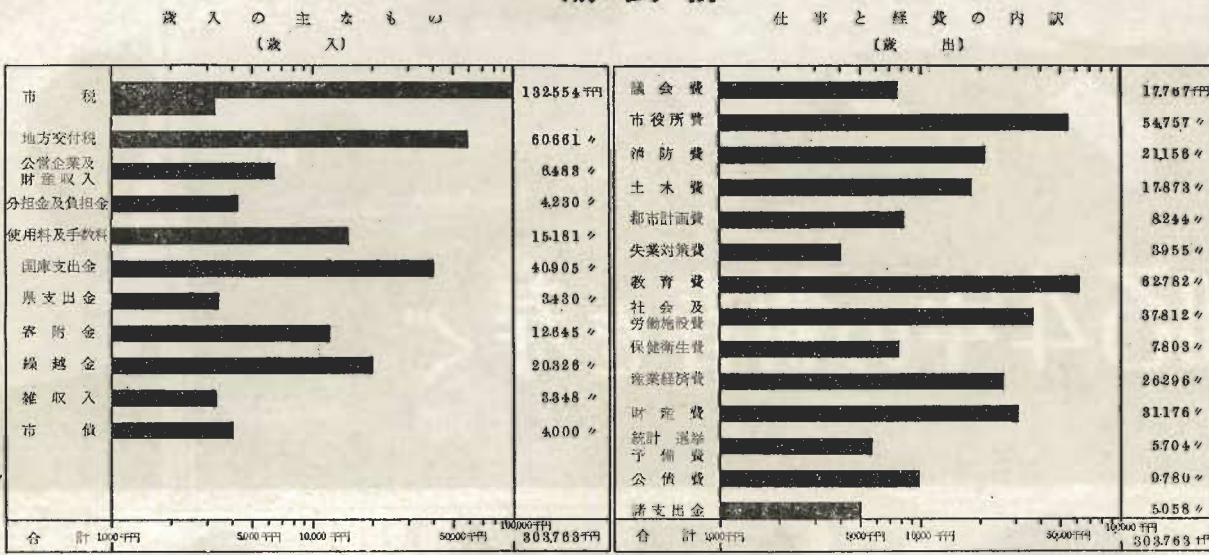
この財政事情は、昭和三十三年四月一日から同年九月三十日までのもので、市財政の状況がどのようになっているかを説明し市民の皆さま方に財政事情をよく理解していただくと同時に、市政に對し一層の協力をお願いしようとするものであります。

三十三年度の予算編成にあたりましては、国の予算編成基本方針に基づいて、本市の財政規模を策定し、これを歳出の規模に適合させ、極力経費の節減をはかり、積極的の投資的経費、すなわち事業費、施設費などに重点をおいて、あくまでも健全財政をまもり当初予算を編成いたしました。本年度一般会計当初予算額は、二億五千九百三十一万九千七百五十四円でありましたが、その後、新農山漁村対策振興費、教育費、船形漁港修築費、産業経済費等、直接市民生活の福祉増進に直結する経費が追加計上され、財政規模は次第に増加して、九月三十日現在の予算総額は、三億三千七百六十六万三千三百五十五円となりました。

歳入については、市民の負担する市税をはじめ、国の補助金、交付金繰越金、市債などによって適切に財源を計上いたしました。

次に歳入歳出の予算を表で説明いたします。

一般会計

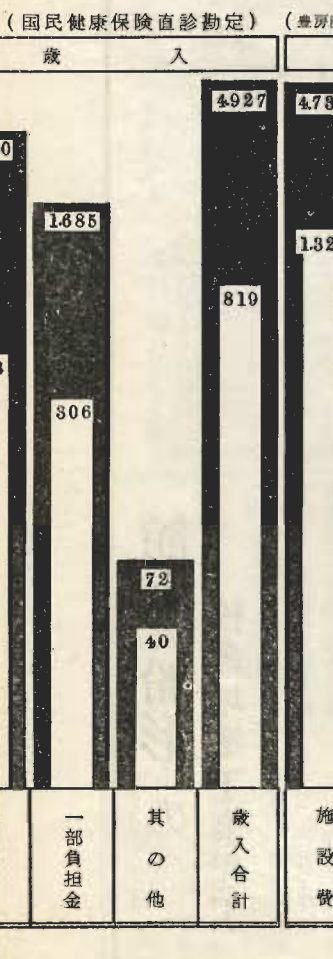


一億五千三百三十万六千七百三十八円、前年同期の一億四千四百九十三万四千八百五十八円に比して、八百三十七万一千八百八十円増加しており、又支出済額では一億三千六百五十八万八千四百八十四円、前年同期の一億二千六百六十八万二千五百三十七円に比し、僅かながら九万四千五百...

現在、普通税の調定額一億三千三百九十二万二千七百七十八円に對し、収入は五千七百二十四万七千三百四十五円、収入歩合43% (前年同期は41%) になっております。市税の主な市民税は、調定額二千八百六十九万五千四百六十四円、収入は八百九十九万二千七百五十四円、32% (前年同期31%)、固

金税

力を重ねてお願いする次第です。



下表は県地方課調査による

昭和31年度決算にみる県下各市の市税人口1人当りの平均負担額

市名	千葉	銚子	市川	船橋	館山	木更津	松戸	野田	佐原	茂原	成田	佐倉	東金	八市場	旭	習志野	柏	県平均
人口一人当りの平均	2.681	2.057	3.220	2.567	2.035	2.177	2.092	3.520	1.924	2.231	2.160	2.222	2.270	1.759	1.844	1.897	1.825	2.410

三十二年年度の決算概要

赤字財政を完全に克服

去る十一月公表の昭和三十三年年度の決算状況について申し上げます。

収入の状況
一般会計歳入総額三億四千七百七拾七千八百七拾七円の内、市税調定額に對しては八四%となつております。次に市税につく大きな収入科目である地方交付税は、五千三百萬円で予算に對し一〇・八%の収入歩合となつており、又国庫支出金は九七%、県支出金は一〇・二%の収入歩合で、市債については、西小学校の改築事業債三百五拾万円、船形漁港修築事業債二百萬、館山小学校災害復旧事業債四百萬、消防ポンプ購入債二百萬円になつております。

支出の状況

総額二億九千七百八拾一萬一千三百三十三円に對し、二億八千四百四拾四萬一千五百五拾七圓の支出で、九六%の執行率になつております。主な支出経費をみると、教育、消防等の人件費が一億二千九百圓、建設費三千九百九拾萬圓、建設費三千九百九拾萬圓、扶助費二千四百萬圓等、歳入歳出差引四、二千三拾二萬六千三百拾四圓の黒字が出ております。これは、昭和二十九年まで累積された、実質的赤字三千三百萬圓を、三十一年度にてたられたあらゆる冗費の節減と行政事務の合理化によ

各家庭で必ず門標を

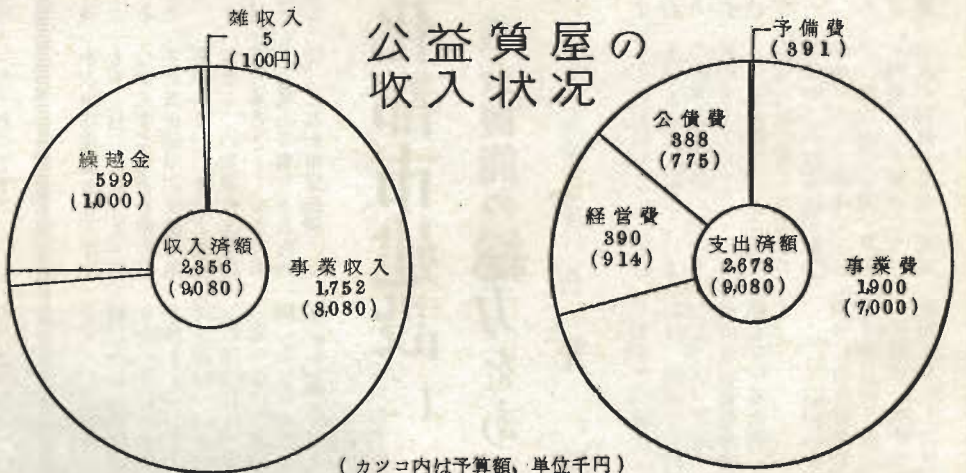
ているが、なご自己財源の百%の利用と、円滑な需要に對処すべく、円滑な図つております。

現在この運営は一般庶民の金融機関として、大いに利用されてゐる。

▲收支の状況は下表の通り

公益質屋

公益質屋の事業については船形地区高崎地区にそれぞれ一ヶ所づつ設けられており、この運営に當り独立採算を立前として事業運営の効率的な点に意をそそいで運営に當つて



保健事業

昭和33年度国民健康保険事業歳入歳出現計表 (事業勘定)

歳入			歳出		
款別	予算現額	調定済額	款別	予算現額	支出済額
1 国民健康保険料	28,082,620	32,068,532	1 役所費	5,195,750	2,322,216
2 財産収入	7,150		2 保険給付費	29,111,220	10,194,782
3 使用料及び手数料	14,000	11,780	3 保険施設費	517,536	119,362
4 国庫支出金	9,277,917	6,404,000	4 趣旨普及費	1,127,000	271,924
5 県支出金	100		5 財産費	100	
6 寄附金	100		6 公債費	123,269	
7 繰入金	100		7 諸支出金	384,005	149,038
8 繰越金	100		8 予備費	975,207	
9 雑収入	52,000	39,885			
歳入計	37,434,087	38,524,197	歳出計	37,434,087	13,057,322
		14,587,126			24,376,765

健康で明るい生活を

国保会計は收支ほぼ均衡

昭 収入支出の状況

昭和三十四年九月三十日現在 (単位千円)

目	税	課	定	額	額	額	率
1	普	通	税	額	未	納	少
	市	民	税	133,922	57,247	76,675	43%
	現	年	度	28,061	8,993	19,068	32
	滞	納	越	22,348	8,478	13,870	38
	過	年	度	5,576	392	5,184	7
	固	定	資	137	123	14	89
	現	年	度	89,242	33,158	56,084	37
	滞	納	越	72,138	31,560	40,578	44
	過	年	度	17,079	1,598	15,481	9
	軽	自	動	25	-	25	-
	市	た	ば	1,681	1,232	449	73
	電	気	ガ	10,201	10,201	-	100
	木	材	引	4,708	3,654	1,054	78
	都	市	計	29	9	20	29
	入	湯	税	4,771	1,813	2,958	38
	3			4,768	1,810	2,958	38
	入	湯	税	3	3	-	100
	3			1,189	84	1,105	7

昭和三十四年九月三十日現在 (単位千円)

昭和三十四年九月三十日現在 (単位千円)

着々と建設を見る

新農山漁村の振興計画

新農山漁村建設総合対策について、その実施要綱が昭和三十一年四月政府から指示されて以来、大きな期待と話題を呼んだ、いわゆる「新しい村作り」は、その後各関係機関の努力と政府の特別助成と合いつて、着々とその成果を上げておられます。

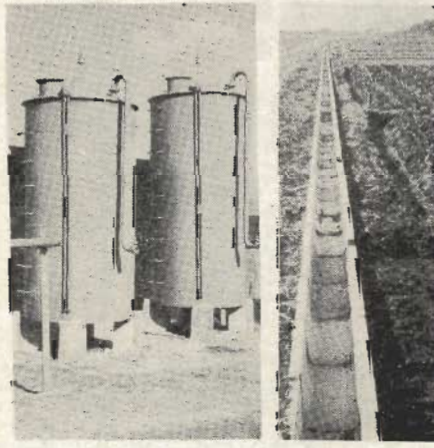
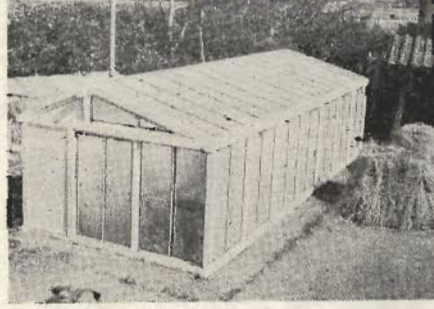
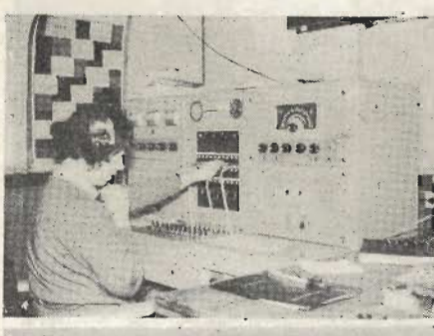
この農山漁村の振興計画(所(宝貝、大井)推其不)についてはまず申し上げたい。農山漁民の自由な発意による適地適産の推進によって、多角的経営を行って、生産性の向上を図る。他産業部門と均衡のとれた発展を促進しよう。政府が昭和三十一年四月から五年計画で地域ごとの、その事業に対して助成を行って来たのでありす。

市では早速関係機関を動員して地域ごとの状況や希望に応じてこの計画作成にのりだし、まずその第一年度において、館山第三地域(館山、館野、九重)が次のような事業に承認認可され事業費一千九百九十八万八千円(国庫補助四十九万六千円)で農事放送施設(館野)共同作業

定置漁網では調定額八千九百三十四万三千六百六十円、収入は三千三百九十九万七千八百七十円、十五万七千八百七十七円、前年同期比で、収入率は年々上昇してありますが、なほ一層今後の市税納税入についても、一段のご協

昭和三十四年九月三十日現在 (単位千円)

昭和三十四年九月三十日現在 (単位千円)



【写真説明(上から)】
 農山地区の農事放送施設 ▶ 波左間漁協の荷揚所 ▶ 安東地区の椎茸不時栽培施設 ▶ 相浜漁協の共同油施設 ▶ 神戸地区の用排水路新設改良

農家の皆さんへ

本年の稲作は、昨年に引続いて豊作であったため、農家は稲を売渡して、余剰米が残っています。余剰米は、農家が納税するべき市税や賦課金に充てられます。

市税や賦課金は、余剰米で納められる。農家は稲を売渡して、余剰米が残っています。余剰米は、農家が納税するべき市税や賦課金に充てられます。

市税や賦課金は、余剰米で納められる。農家は稲を売渡して、余剰米が残っています。余剰米は、農家が納税するべき市税や賦課金に充てられます。

市税や賦課金は、余剰米で納められる。農家は稲を売渡して、余剰米が残っています。余剰米は、農家が納税するべき市税や賦課金に充てられます。

市税の負担

昭和三十四年九月末日現在

調定済額

人口 62273人 世帯数 13596世帯

1人当り 1866円 世帯当り 8519円

1人の滞り 今月の市民 納期 1月末

滞りなく納税してください。市民の皆さん、納期は1月末です。

滞りなく納税してください。市民の皆さん、納期は1月末です。

滞りなく納税してください。市民の皆さん、納期は1月末です。

市の財源となる タバコ消費税

たばこは是非市内で買いませんか？

みなさんが市内で「タバコ」を買えば、市の収入が増えます。

市税や賦課金は、余剰米で納められる。農家は稲を売渡して、余剰米が残っています。余剰米は、農家が納税するべき市税や賦課金に充てられます。

助産費、葬祭費の支給状況

種別及び年度	昭和三十四年度	昭和三十三年度	昭和三十二年度
助産費	472件 236,000円	509件 254,500円	495件 247,500円
葬祭費	315件 157,500円	386件 193,000円	446件 223,000円

徳で便利な納税貯蓄組合

新年をお迎えし、一年の計をいろいろと立てておられることと思いますが、その計の中に納税を考慮に入れておられるでしょうか？

納税貯蓄組合は、納税の負担を軽減し、貯蓄の機会を提供します。

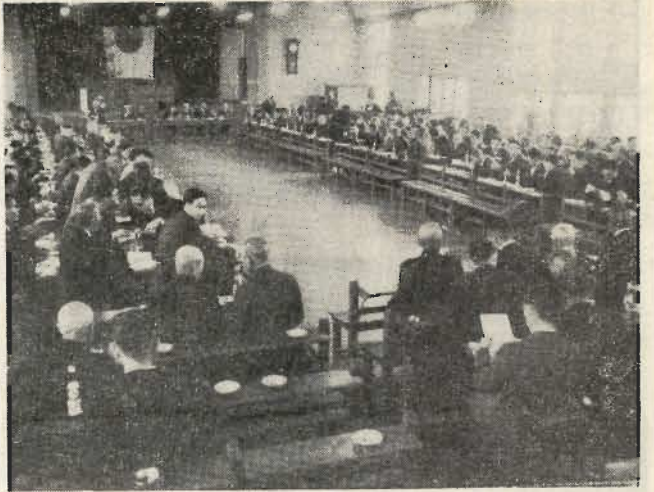
軽自動車税の取扱い

昭和三十三年四月から、軽自動車の取得に際しては、未登録の「こうろん機」を所有している方は、第一課に申請して下さい。

軽自動車税の取扱いについて、詳しくは第一課にお問い合わせください。

必ず住民登録を

引越をしたときは住民登録の届出をお忘れなく。



恒例の名刺交換会 北条小学校講堂で

年頭の祝辞を交換し、お互いの多幸と館山市発展を期し、恒例の新年名刺交換が元旦の十一時、北条小学校講堂で盛大に開かれた。当日は市内各地域の市民有志及び各官公庁、会社団体、衆、県、市の各議員四百八十名が一室に集り、昭和三十四年(一九五九年)の新春を期す。

商店サービスの 優良店舗決まる

昨年暮れ、日本商工会議所主催で全国一斉に行われた商店サービスの強化運動は「正札販売、正量販売、品質表示」及び「メートル法の完全実施」に市内各商店業者もこれに参加したが、この運動と同時に商店のサービスコンクールを開催し、申込商店のうち次の店舗が戸籍する手で、火の始末も必ず審査の結果優良店舗として表彰された。

優良従業員

館山商工会議所では、長年にわたって事業主をたすけ、その後輩の指導にたゆまない努力をして、去る十二月十日田村市長、本間会頭からそれぞれ次の方達に表彰状及び記念品を贈呈した。

- ◎三十七年勤続 前田熊吉(集賢舎)
- ◎三十五年勤続 忍尾宗治(集賢舎)
- ◎二十七年勤続 藤平清治(中村屋)
- ◎二十四年勤続 大山聡(秋山呉服店、若松屋本)

電話級無線の 通信士養成講習会

二月十六日から三月二十五日までの約三十八日間、にわたって、県主催による電話級無線の通信士養成講習会が行われ、市内水産試験場で行われます。この申込受付は、水産試験場で行っております。

農業改良の 共進会結果

第九回目の館山市農業改良共進会が、去る十二月教育会館で行われた結果、出品点数二七〇点の内、主な入賞は次の通りでした。

- 【第一部 稲作】
特別賞 鈴木敏(安東)
一等賞(玄米) 高橋広治(中村屋)
- 【第二部 野菜】
特別賞(白菜) 安西文太郎(藤原) 同(大根) 同(岩崎) 同(原)
一等賞(大根) 小林ひさ子(八幡) 同(ほう) 同(中三郎) 同(水岡) 同(白)
- 【第三部 苗木、果樹】
特別賞(杉) 小柴正人(大井) 同(ひの木) 同(繁田作次郎) 同(大井) 同(黒)
- 【第四部 生活改善】
特別賞(木炭) 高山正男(神余)
- 【第五部 生活改善】
一等賞(木炭) 石井文治(畑) 同(原木) 同(高橋) 同(宝貝)
- 【第六部 生活改善】
マカロニ野菜イタメその他(八幡)のりグループ

鼠退治は いまが最適

冬はネズミの生体力が低くなりまた薬殺しても「アハイ」しないので今がその駆除の絶好のチャンスです。ネズミの習性や生態をよく知って、その弱点をつき一匹残らず退治しましょう。

冬の暖房と 室内温度の適度

室内温度をどの位にしたらいいか、人により、またその人の仕事により、或は服装によつて一様で房州人は辛棒がたりないなどの声をきいたま聞かれます。すると段々房州人の就職口をせばめて行く一つの原因ともなっています。先輩が良くやれば後輩の就職にあたりも随分らくになるのではありませんか。

二月天候予想 富崎測候所

大陸の高気圧は上旬にはあまり発達しませんが中旬以降は発達し冬型の気圧配置が続き、下旬には高気圧が北偏して本邦に張り出すため本邦南岸に前線が停滞する見込です。

新春出初式



年頭を飾る恒例の出初式が、七日午前九時から二中校庭で来賓多数を迎え盛大に行われた。この日各分団の演習信号を合図に館山市消防の全機能が二中校庭に集合し、機械器具の点検、ポンプ操法放水等の演習を行い、終つて消防功労者、永年勤続者の表彰が行われた。

新入荷 図書案内

館山市図書館購入図書 自一〇、二五

分類	著者
総記 現代教育全集 二	白井吉見
哲学 野田郷土史	市山盛雄
社会学 現代倫理(一)	古田 晃
社会学 正しい挨拶と話し方	大森朝彦
社会学 式辞挨拶演説全集	鶴書房編集部
社会学 保守独才論	藤原弘達
社会学 鑑識捜査	遠藤徳貞
社会学 女教師であること	古川 原
社会学 全国大学受験案内	博文堂
社会学 エチケツト	日高孝次
社会学 人間は十代に作られる	村井清明
社会学 子供をよくする 母親の条件	滑川道夫
自然 曆象年表	東京天文台編
自然 法医学の話	古畑種基
自然 猿猴ハンターガイド	林尾好夫
自然 美術 ジャンル大帝 一、二	赤尾治夫
自然 茶 檉石	平塚治湖
自然 造形心理	辻 嘉一
自然 英語手紙の書き方	土方 定一
自然 学生海外文通	半田 一郎
自然 白浪五人帖	山田風太郎
文学 アンノの楽しい家庭	村岡花子
文学 オペラの怪人	高木彬光
文学 戦国残党話	中山義秀
文学 就寝覚書	鳥本春雄
文学 鈴木大拙先生の事	大館 則貞
文学 ドストエフスキー小説	高木彬光
文学 人間圧縮	中村 光夫
文学 初一念記	伊藤 正一
文学 子の胸に	杉浦 正一
文学 成吉思汗の秘密	安東末子
文学 現代作家論	野上 丹治
文学 芭蕉の研究	小 林
文学 つづり方兄妹	山田風太郎
文学 断崖地帯第五部	石坂洋次郎
文学 若川の流れ	伊藤 正一
文学 中国詩人選集曹植	武部 利男
文学 李白下	千田 九一
文学 新韓非子物語	千田 九一

◎ 奇贈 図書
太陽は空高く
解析読本対数函数の巻
朝日新聞報道関係傑作集
助産婦学教本
知識の宝庫
私は日本の捕虜だった

朝日新聞社
慶応義塾大学
学芸社編集部
デジエーザ
前川金治 訳

今年卒業の就職する方へ

いふならば、人間の一生はいろいろな波であり、楽しい波、つらい波が寄りかたつておこる。返しては寄せるものです。就職は決して遊びに行くものではないから、就職を志す立派なことだと思ふべきです。

- (1) 戸籍、住民登録の届出
- (2) 一般家庭配給入口の異動(転出入)について
- (3) 死亡届、死産届
- (4) 埋火葬届
- (5) 妊娠届(母子手帳)
- (6) 出生届
- (7) 外国人登録についての

市役所の 機構かわる

一月一日から市の機構が一部改正され新しく「市民課」が元戸籍課が分館に新設されました。これは、これまで転出入届、死亡届等の場合に商工水産課、厚生課、戸籍課と各課を歩きまわつてそれぞれ関連した手続きをしなければならなかったのを、

一部変更の 登記事務管轄

これまで館山市の一部(布良、相浜、大神宮、中里、大石、竜岡、神余)の登記事務は、白浜出張所へ取扱つておりましたが、昭和三十四年一月一日から、館山支局へ取扱つておこなうことになりました。

今年卒業の就職する方へ

さて、中学や高校を出てすぐ職場に行かれないと、希望されている方の数も、人をしたいとい